

「児童発達支援センターきらめきの里」は、子育て・親育ちが生涯に渡って支えられるよう、発達初期における「親子通園」を支援の柱として、家族のニーズにあわせた支援提供に努めています。

2024 年度

卒園児保護者さまからいただいた

卒園式でのメッセージ



① 母子通園をはじめた頃は通うだけで精一杯(A 君のお母さまより)

本日、A は、卒業の日を迎えることができました。園長先生をはじめ、お世話になった先生方、職員の皆様に謹んでお礼の言葉を述べさせていただきます。また、出席してくれたお友達や保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

母子通園をはじめたばなな組の頃は通うだけで精一杯でした。いちご組になり活動に少しずつ参加できるようになり親子で楽しめる時間も増えました。すいか組ではお友達との関りも増え、お泊まり会やおでかけなど毎日がAにとって宝物になったと思います。

私もAと通ったこの数年間は毎日が大事な思い出です。〇〇先生とAと3人で園を抜け出して散歩に行ったり、お昼休けいでママさん達と笑ったり、色々な先生と沢山話をしてきたことが、とても救われたり楽しかったです。

最後に、毎日Aに寄り添って沢山一緒に遊んでくれた先生方、本当にありがとうございました。

② 遊びを通して色々な経験を経て(B 君のお母さまより)

いつも元気にユーモアこもった、たくさんの楽しい時間をありがとうございました。おかげで親子共に毎日笑顔で過ごすことができました。お部屋を絵の具で体を使って床中カラフルにしてシャワーを浴びたり、公園に行ってたくましいダンゴムシを探したり、実はワラジムシでビックリして逃げたり、遊びを通して色々な経験を経て今のBがいるんだと思います。ここまで大きくなったのは先生達のおかげです。これからも沢山の子どもたちの沢山の笑顔をつくってってください。

3 年間お世話になりました。そして本当にありがとうございました。

③ 私もCも頑張った！！通いきった！（C君のお母さまより）

本日はこのような心温まる卒園式を行っていただき、ありがとうございます。私からみなさんへ感謝の気持ちと今までを振り返ってをお伝えさせていただきます。

妊娠中は無事に生まれてくれたら良いと思っていました。産まれてからは、母子手帳の発達の質問では“いいえ”が増え、一筋縄ではいかない育児。予想外でした。同い年位のお友達の成長がまぶしく見え羨ましい気持ちが芽生え、息子の様子を見た人に宗教へ勧誘されたり、外では息子の言動を悪意のまま真似される、注意を受けるなど他にも嫌な思いをすることも沢山ありました。世間の目は厳しいです。でもきらめきの里は違いました。ありのままのCを受け入れてくれます。きらめきの里へ通い始めた時のCは、表情が乏しく、指示されるがまま動き、自分のみの世界で過ごしていました。

しかし楡の好い事作り療法を学び、（最初はこんな事出来るのかと疑っていました。ごめんなさい）自分も先生達の真似をして実践すると、Cに成長がみられ徐々に世界が広がり始めました。自我が始め、喜怒哀楽がわかりやすく出せるようになると同時に表情も豊かになりました。また周囲への関心が広がり観察や顔を見るようになりました。ジャムおじさんを指さし「ママ」と言い“似ている”と教えてくれたり、銃をブロックで作って戦いごっこをしたりと楡で観察し学んだ事を家でも再現します。先生が仲介し他のお友達と遊ぶことが楽しいと学んだ息子は、親や甥っ子とも遊ぼうと誘ってくれることが増えました。給食も大好きで、トレーごとおかわりを何度もしていたCですが、満腹感と好き嫌いを覚え、おかわりをしない時期がありました。久しぶりにおかわりに行くと「待ってたよ」「沢山食べてくれてありがとう」との声が温かく、とても嬉しかったです。毎日美味しい給食をありがとうございました。

先生たちがCを「かわいいかわいい」といつも可愛がってくださって、園生活を振り返るとCはいつも楽しそうでした。今では休みの日も「に・れ、いこ」と言い登園しようとしています。こんなにも成長できたのは、みんなにも先生にも、Cを受け入れてもらい、沢山の愛情をいただいたからだと思います。

母子通園は体力気力ともに辛いですが、他のご家族の方と接する機会は私にはとても有難かったです。みんなそれぞれ必死で、一人じゃないと思えました。不安を吐き出せたり、笑いあえる、それがあって帰ってからもうちょっと頑張れるそんな素敵な場所でした。先輩ママさんたちが「楡を卒業してからもどこかしらでまた会おうよ」と言っていました。その時はまた仲良くしてください。宜しくお願いします。

Cの成長は心から嬉しいですが、大好きなきらめきの里から巣立つのはさみしいです。しかし、ここで過ごした約4年間の思い出と学んだこと、そしてここに心強い味方が沢山いるので小学校生活もCなら大丈夫と信じて親子共々、次に進みたいと思います。

私もCも頑張った！！通いきった！ C卒園おめでとう。ここの温かい空間と先生方が大好きでした。お世話になりました。さようなら。

④ それは本当にDにとっての幸せなのかな？(D君のお母さまより)

きらめきの里職員の皆様4年間本当にお世話になりました。そして心温まる卒園式をもよおしていただき、ありがとうございます。また、保護者の皆様ご卒園おめでとうございます。6年前、この世に生まれた子供達。あっという間に6年の月日が流れましたね。去年の今頃、来年は私もここに立っているのかぁなんて、ぼんやり思っていたんですが、すぐに今日という日が来てしまいました。

きらめきの里に通園しようと思ったきっかけは、お恥ずかしいのですが、ミキサー食をつくってもらえるから！ただそれだけでした。ごめんなさい。笑 ミキサーをかけてつくっては、ひとくちも食べず！というループから抜け出したくて、PTの●●さんに紹介していただき、通園が始まりました。

入園した当初△△さん(職員)に母子通園ってね、子供の成長を近くで見れるんだよ。素敵なんだよ〜って教えてもらい、ただその当時の私は、自分が楽になることで頭がいっぱいで単独でいって、勝手に成長してほしい。そんなことばかり考えていました。笑 ごめんなさい。笑 ただ、四年経った今、母子通園の素晴らしさ、△△さんが言ってくれたあの言葉が痛いほど沁みています。保育園や幼稚園に行っても、たしかにDは成長したかもしれないけれども、親の私はきつとずっと止まったままで。

あの当時私は、できることが増えて欲しい、歩いてほしい、おもちゃで遊べるようになってほしい。など、成長ばかり求めていました。でもそれは本当にDにとっての幸せなのかな？と自問自答する時期がありました。たしかに沢山のことができる素晴らしいけれども、それよりも大切なことがあるってことを私は先生達を通して教えてもらいました。

ニレで教えてもらった「気持ちを代弁する。満足感を作る。」ということ。これは私たち親子にとってとても大事な学びになりました。先生たちがDの気持ちを代弁し続けてくれたからDは伝えることを諦めずにいれたと思います。今のDがいるのは先生方のおかげです。Dの気持ちを救ってくれて本当にありがとうございます。

最初の頃、Dは私にべったりで離れようとせず、俺こーゆー遊び興味ないから。とめちゃくちゃクールで、一生懸命考えてくれた療育も何もやらず、ほぼ無視でした。笑

▲▲先生の明るさと謙虚さ、□□先生のまじめさとかかわいさ、△△さんの優しさと強さ、■先生のおもしろさとポロっと出てくるフレーズはただただファンです笑 そして◇◇先生には恋をしています笑 私もDもレモンクラスの先生達が大好きです。きらめきの里の先生方が本当に大好きです。卒園したくありません。寂しいです。

でもきつとここからがスタート。心の根っこ、しっかりとした土台をここで作っていただいたので、きつとDなら大丈夫。そう信じて前に進みます。4年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

⑤ 家族一丸となり満足づくりを頑張ってきました(E 君のお母さま)

榆に通うようになって3年3か月が経ちました。榆に通う前はおとなしくて夜も一人で寝てくれる子でしたが榆に通うようになって、自我が出てきました。着たい服が2、3着しかなく、新しい服を買っても着てくれず、夏でも長袖、冬はジャンパーを着なくて靴もスニーカーでした。でも年中になり、半袖を着れるようになり、ジャンパーを着れるようになりました。今年度は、長袖から半袖の移行もスムーズでしたし、冬はスキーウェアとスノーブーツを当たり前のように履けました。

年少になったばかりの頃は、言われた通り朝の会、帰りの会で座っていたし、自分の欲求があまり出てませんでした。しかし、だんだん朝の会、帰りの会では座らなくなり、外に行きたい等の欲求が出てきたので、家族一丸となり満足づくりを頑張ってきました。

嫌だった気持ちを表現するのに、水筒の蓋を取ってと要求し、水筒に入っている麦茶を頭から被ったり洗面台の蛇口のホースを伸ばして自分に水をかけたりと、後片付けが大変でした。でも、園長先生から大きくなってからだが大変だから小さいうちにやっておけばいいという言葉の思い出しやりたいうにさせてきました。満足するまで付き合うことによって、こちらの要求を徐々に受け入れてくれるようになりました。

満足づくりってすごいなと実感できました。

年長になってから、出来る事が増えてきて、順番を待つことができるようになったり、行きたい方向を指差したり戦いごっこをするようになったり、少しですがしゃべるようになりました。歯医者に行きたくないのに、泣きながら頑張って最後には行く姿には感動しました。終わった後はトイレに籠城するのは大変でしたが…気持ちの切り替えも随分早くなりました。

今までやってきた、満足づくり、気持ちの代弁の成果がでてきて今年度は楽しかったです。

そして、今年度は保育園をやめて毎日通うようになったので、体力的に辛い時もありましたが、ここに来ると先生方は笑顔でパワフルで元気をもらえました。そして同じクラスのお母さん方と休憩する時間が大好きで頑張って通うことができました。

榆に通い、Eは勿論ですが、私も成長することができたと感じています。いつも、悩みを聞いてくれたり、解決策を考えてくれたり、教えてくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

⑥ 家族全員で「やり切った！」という思いを持って小学校へ行こう！(E 君のお父様)

最近、Eが大きく成長したと先生方に言ってもらえます。親として本当にうれしいです。そのきっかけを作ってくれたのは〇〇先生です。〇〇先生には2回言われたんですね。「ママ、仕事辞めないの？」って。全然、嫌な気持ちにはならなかったけど、最初は随分踏み込んでくるなって思うだけでした。でも、2回目に言われたときは、さすがに、「あの〇〇先生が2回も言うってことはよ？」「Eが今すぐく伸びてるか、これからグイッと伸びるってことじゃないの？」と。夫婦で話し合って、今年は親子で療育に通える最後の年。今後、小学校に上がり、中学、高校、社会へと出ていく中で、Eの人生を左右するかも

しれない一年間。保育園をやめて、療育に極振りしよう！家族全員で「やり切った！」という思いを持って小学校へ行こう！と決めたのは、去年のちょうど今頃でした。

意気込んで始まった今年度ですが、いきなり肩透かしを食います。だって、先生が4月の末から単独を始めるっていうんだもん。「ちょっと？〇〇先生？先生の勧めもあって療育に極振り決めたんだけど？もう、単独始めるの？」家庭訪問の時に思いを伝えると、先生の考えや思いを明かしてくれた上で、笑いながら「週たった1日だから。まだ、親子でいっぱい通えるから」と言われて、ふっと力みがとれました。

夏はEと一緒に新さつぼろの街中をいっぱいお散歩しました。思いっきり水遊びもしたし、お泊り会にも参加できました。冬には念願だった息子とのそり滑りや雪遊びもできました。

我が子が発達障害だと分かった時に、我が子の将来を悲観して、自分を責めない親はいないと思うんです。妊娠中のあの薬が悪かったんじゃないか。妊娠中のあの行動が、子育てでの関り方が、悪かったんじゃないか。生まれてすぐに単身赴任しなければ、もっと早く気が付いて手を打っていれば。そんな多くの後悔と共に、この子はこの先どうなっちゃうんだろう、自分たちが死んだあと、ひとりで生きていけるのかなと、漠然とした不安と恐怖に押しつぶされそうでした。「私は大丈夫。ほんとに大変なのはこの子だから」ってママは言うけど女の子が悲しそうに笑って強がってるときって、全然大丈夫じゃないよね！？相当つらかったよね。めっちゃめっちゃキツかったよね。

でも、きらめきの里での出会いがそんな不安から救ってくれました。

いつも「よくやってるよ。すごいね。」と褒めてくれて私たち保護者を励まし、勇気づけ、今日まで寄り添ってくださった先生がた。先生方のおかげで、親も子も成長し、できることが本当に増えました。

本やネットの中の情報じゃなくて、私たちの一歩前を歩いてくれる先輩ママやお兄さん、お姉さんの存在。「ウチも去年はそうだったよ。そのうちできるようになるよ」と先輩ママたちのありがたいお言葉に、何度も救われ、去年卒園していったお友達をマイルストーンに、Eの成長を実感してきました。そして、同じクラスのお友達やママやパパとのコミュニティのおかげで、発見と気づきの毎日になりました。今、素直に我が子の成長を喜んでいます。

今年一年を振り返って、やり残したこともあるような気もするけど、とりあえず「やりきった！」かな？という思いの中にいます。

不安は尽きないけれど、きらめきの里での成長体験をもって、次のステージへ進みます。

改めて、今日までかかわってくれたすべての方々に感謝します。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。

